

東北地方 1か月予報

(3月30日から4月29日までの天候見通し)

平成14年3月29日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

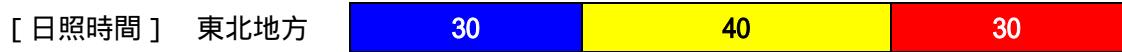
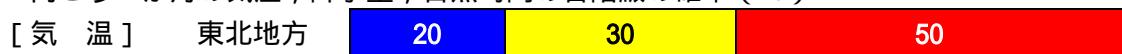
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並、日照時間も平年並でしょう。

気温は、1週目高く、2週目は平年並か高い、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 3月30日(土) ~ 4月29日(月)

1週目 : 3月30日(土) ~ 4月 5日(金)

2週目 : 4月 6日(土) ~ 4月12日(金)

3~4週目 : 4月13日(土) ~ 4月26日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日14時30分 次回は4月5日

3か月予報:4月22日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	8.7	141.1	179.5	6.4	7.8	9.7
新庄	7.8	105.7	153.0	4.7	6.5	9.2
若松	9.5	67.6	176.7	6.4	8.3	10.9
深浦	8.0	98.9	176.2	5.7	7.2	9.0
青森	7.6	66.1	189.8	5.1	6.7	8.7
むつ	6.9	85.0	195.9	4.6	6.0	7.9
八戸	7.9	61.5	197.7	5.6	7.0	9.0
秋田	8.9	122.6	177.7	6.4	8.0	10.0
盛岡	8.0	99.0	178.3	5.2	7.0	9.3
宮古	8.3	99.4	194.7	6.1	7.5	9.4
酒田	9.5	111.5	174.9	7.1	8.7	10.6
山形	9.4	70.7	181.4	6.4	8.3	10.8
仙台	9.8	100.5	193.6	7.4	8.9	10.9
石巻	8.9	93.9	196.4	6.6	8.0	9.9
福島	10.9	83.9	192.1	8.1	9.8	12.2
白河	9.4	104.6	187.3	6.7	8.4	10.7
小名浜	10.8	132.2	188.9	8.7	10.0	11.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.4	84~114	95~103
東北日本海側	-0.5~+0.5	88~109	95~106
東北太平洋側	-0.3~+0.4	80~115	96~103

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.6	-0.6~+0.7	-0.4~+0.3
東北日本海側	-0.6~+0.7	-0.7~+0.8	-0.5~+0.4
東北太平洋側	-0.6~+0.7	-0.6~+0.8	-0.4~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年3月29日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(3月30日~4月29日) :

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

1週目(3月30日~4月5日) :

明日(30日)は低気圧の通過により天気が崩れます。その後は高気圧に覆われて概ね晴れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2週目(4月6日~4月12日) :

天気は周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(4月13日~4月26日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

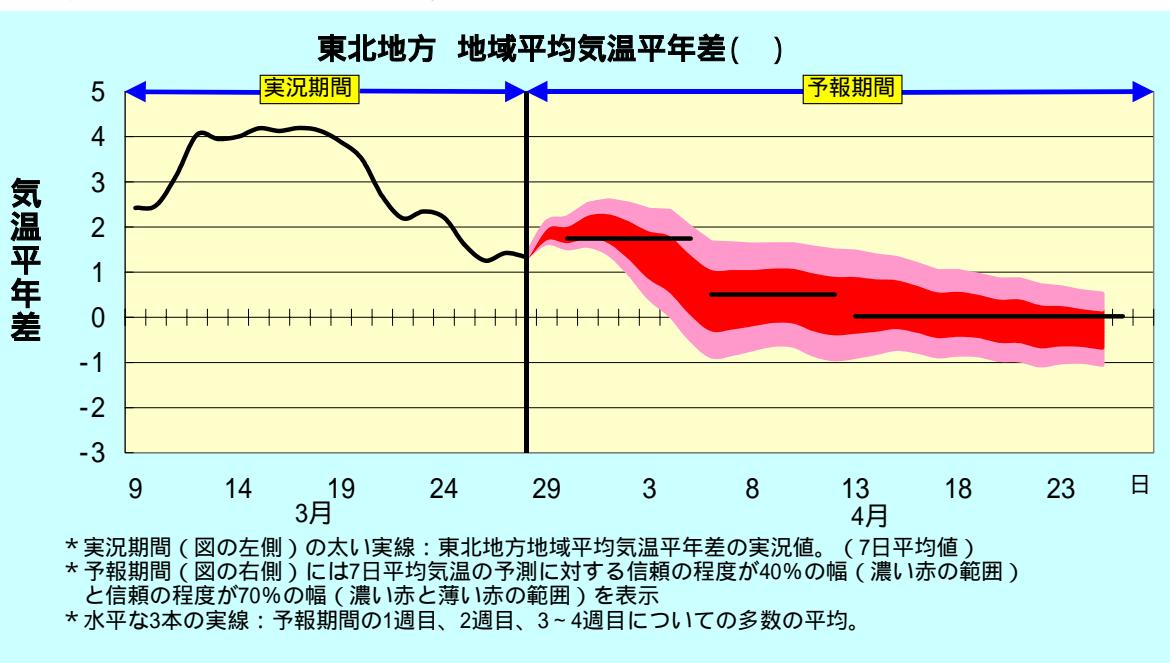
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.2日	3.7日	3.6日	7.9日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.1日	8.5日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

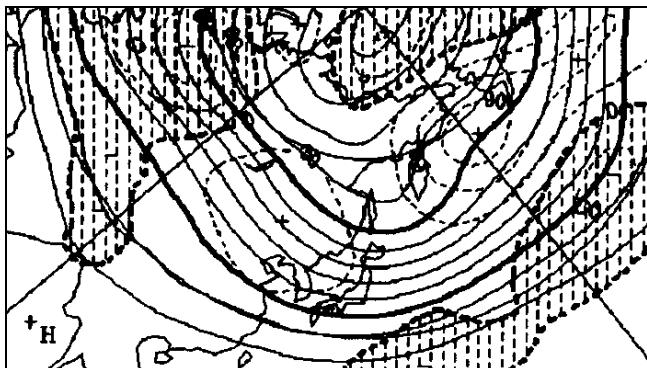
気温は、1週目「高い」、2週目、3~4週目は「平年並」を予測している。

予報は、その他の資料から2週目を「平年並か高い」とする他は予測どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



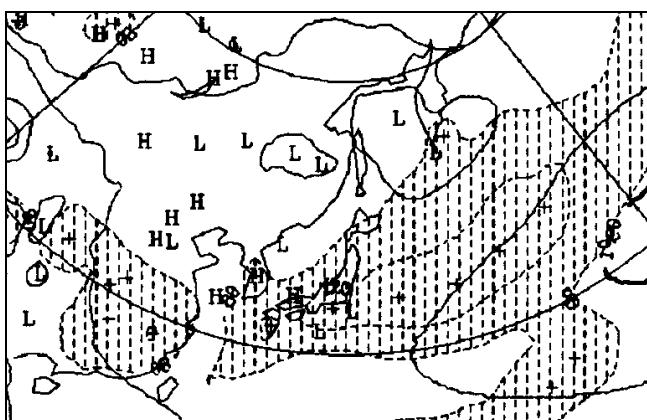
月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、極東域は正偏差に覆われ、大陸から日本海に強い正偏差域が広がる。

偏西風の流れは東西流が卓越し、天気は周期的に変化する。

週別（図略）では、各週共に概ね月平均と同様だが、3~4週目にはオホーツク海高気圧に対応する気圧の尾根が予想される。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 毎、陰影部 : 80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、カムチャッカ半島からオホーツク海に低気圧、太平洋には高気圧が予想されるが、日本付近に等圧線はなく、天気は周期的に変化する。

降水域は日本付近を広く覆うが、まとまった降水域は日本の南岸を延びる。

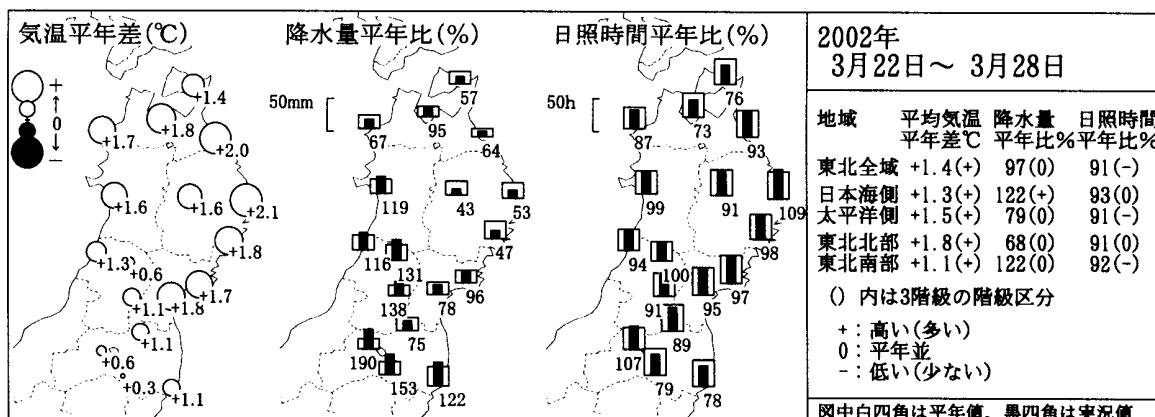
週別（図略）では、月平均で見られるカムチャッカ半島付近の低気圧が徐々に弱まり、2週目には東日本以西が高気圧に覆われるが、概ね月平均と同様。

4. 最近1週間（3月22日～3月28日）の天候の経過

この期間、天気は概ね周期的に変化し、気温の変動も大きかった。23日に低気圧が通過し、東北日本海側を中心に雨や雪となり、24日は一時的に冬型の気圧配置となった。また、27日にも低気圧が通過し、東北地方はまとまった雨となった。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れた。

21～23日は各地で黄砂が観測された。また、さくらの開花は小名浜で25日、仙台で29日ともっとも早い記録だった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.4℃と高かった。降水量は、東北日本海側で平年比122%と多く、東北太平洋側で平年比79%と平年並だった。日照時間は、東北日本海側で平年比93%と平年並、東北太平洋側で平年比91%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）